

# 浄化槽台帳システム

## ～ インストールマニュアル ～

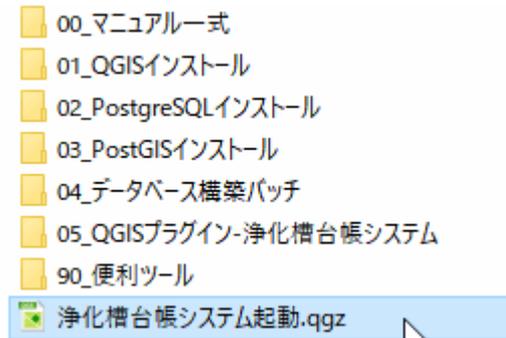
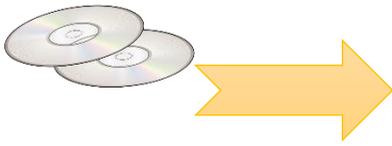
1	<a href="#">デスクトップへコピー</a>	配布された DVD に格納されているデータをデスクトップにコピーします。
2	<a href="#">QGIS インストール</a>	QGIS をインストールします。
3	<a href="#">PostgreSQL インストール</a>	PostgreSQL をインストールします。
4	<a href="#">PostGIS インストール</a>	PostGIS をインストールします。PostgreSQL がインストールされている必要があります。
5	<a href="#">データベース構築作業</a>	データベースを構築します。
6	<a href="#">プラグイン設定</a>	QGIS を起動し、浄化槽台帳システムのプラグインを設定します。
7	<a href="#">システム起動確認</a>	システムの起動確認をします。初期ユーザでシステムにログインします。 <u>※初期ログインユーザ情報が含まれているため、ご注意ください。</u>

こんな時どうする？

- 1 [文字が見切れてしまう。](#)
- 2 [クライアント／サーバ型でシステムを利用したい。](#)

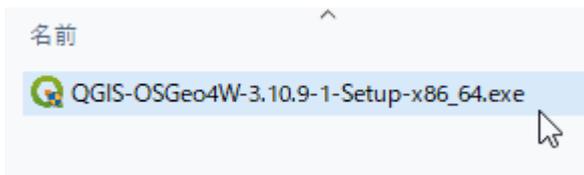
## 1. デスクトップにコピー

配布された DVD に格納されているデータをデスクトップにコピーします。

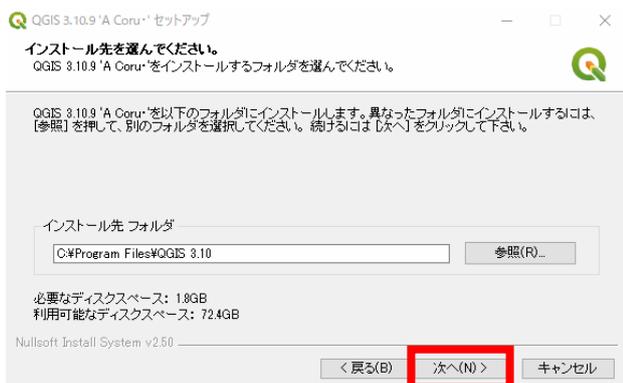
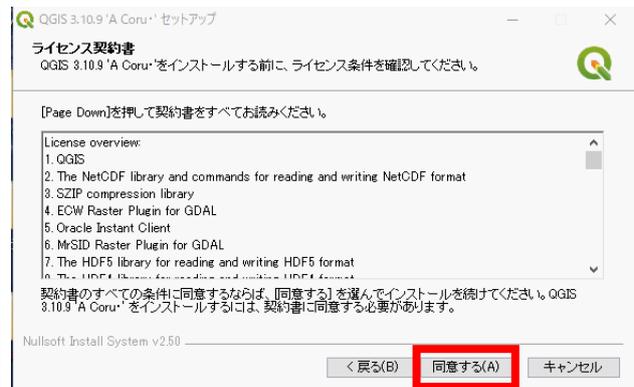


## 2. QGIS インストール

「QGIS-OSGeo4W-3.10.9-1-Setup-x86\_64.exe」をダブルクリックします。



インストール画面を進めます。(次へ→同意する→次へ→インストール)

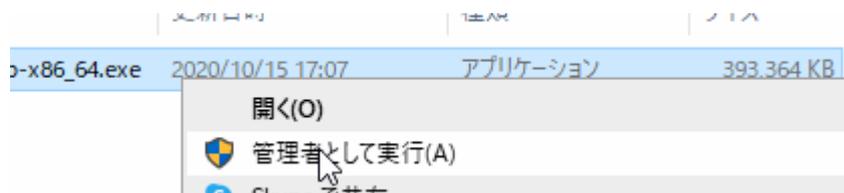


完了をクリックし、QGIS のインストールを終了します。



うまくいかない場合（いずれかの方法をお試しください。）

1. パソコンを再起動し、お試しください。
2. 右クリックメニューより、「管理者として実行」にて、お試しください。



3. 各自治体のセキュリティ関係部門にお問い合わせください。

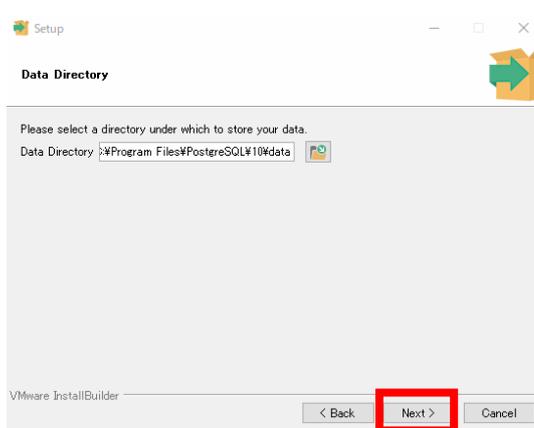
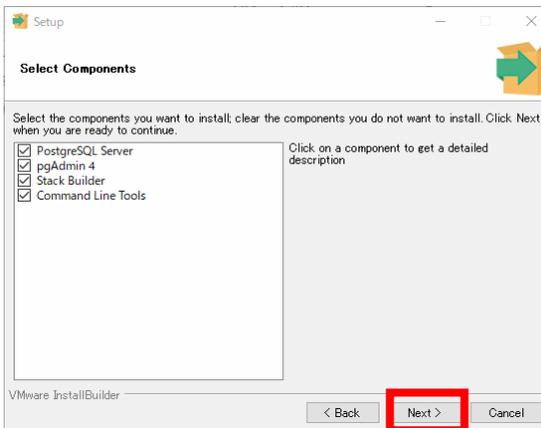
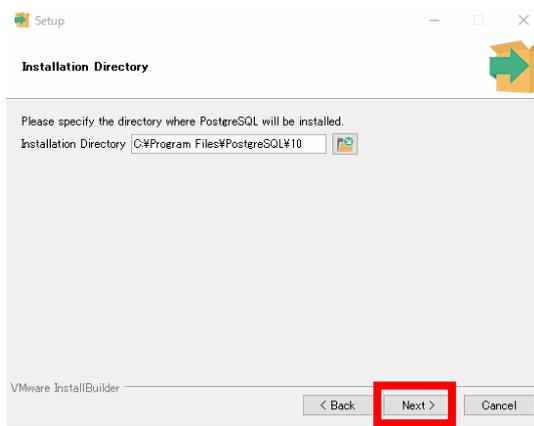
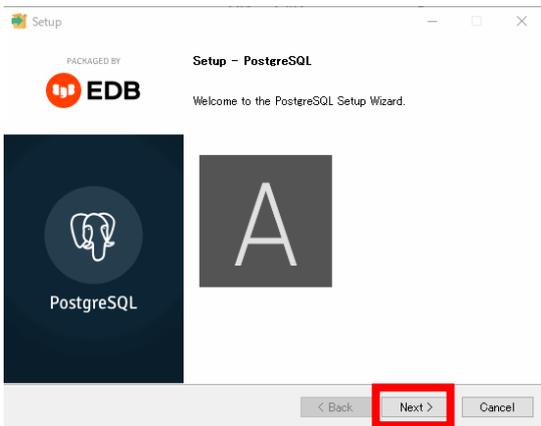
## 3.PostgreSQL インストール

「postgresql-10.16-1-windows-x64.exe」をダブルクリックします。

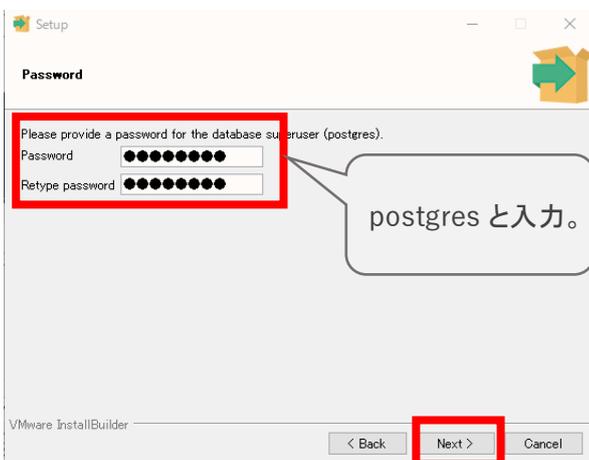


OS が 32 ビットの場合  
postgresql-10.16-1-windows-x86.exe

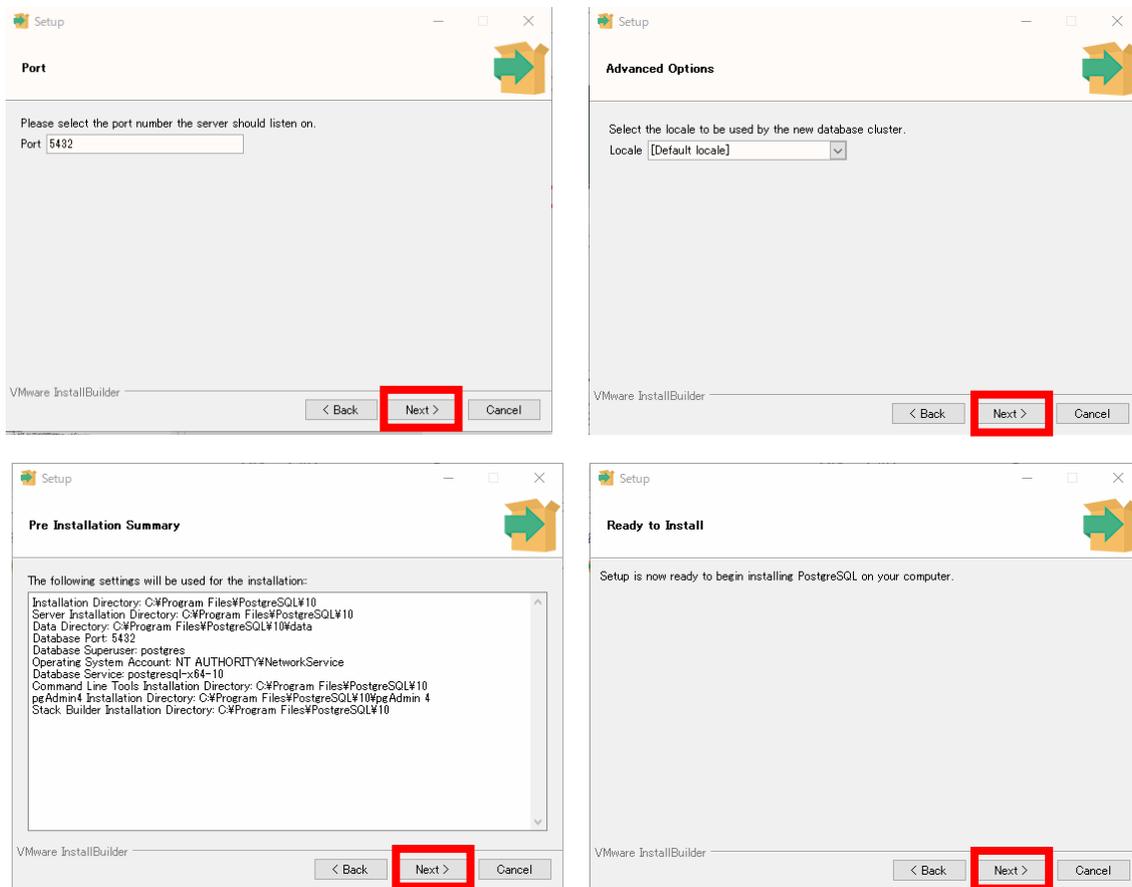
インストール画面を進めます。(Next)



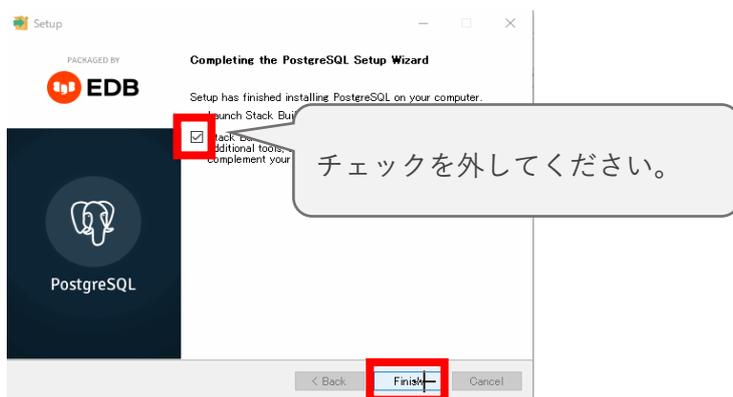
5 つ目の画面でパスワード入力が必要となります。「postgres」と設定して Next ボタンをクリックします。



インストール画面を進めます。(Next)

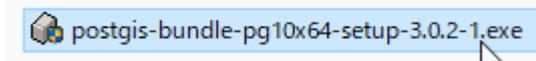


チェックを外し、Finish をクリックします。PostgreSQL のインストールを終了します。



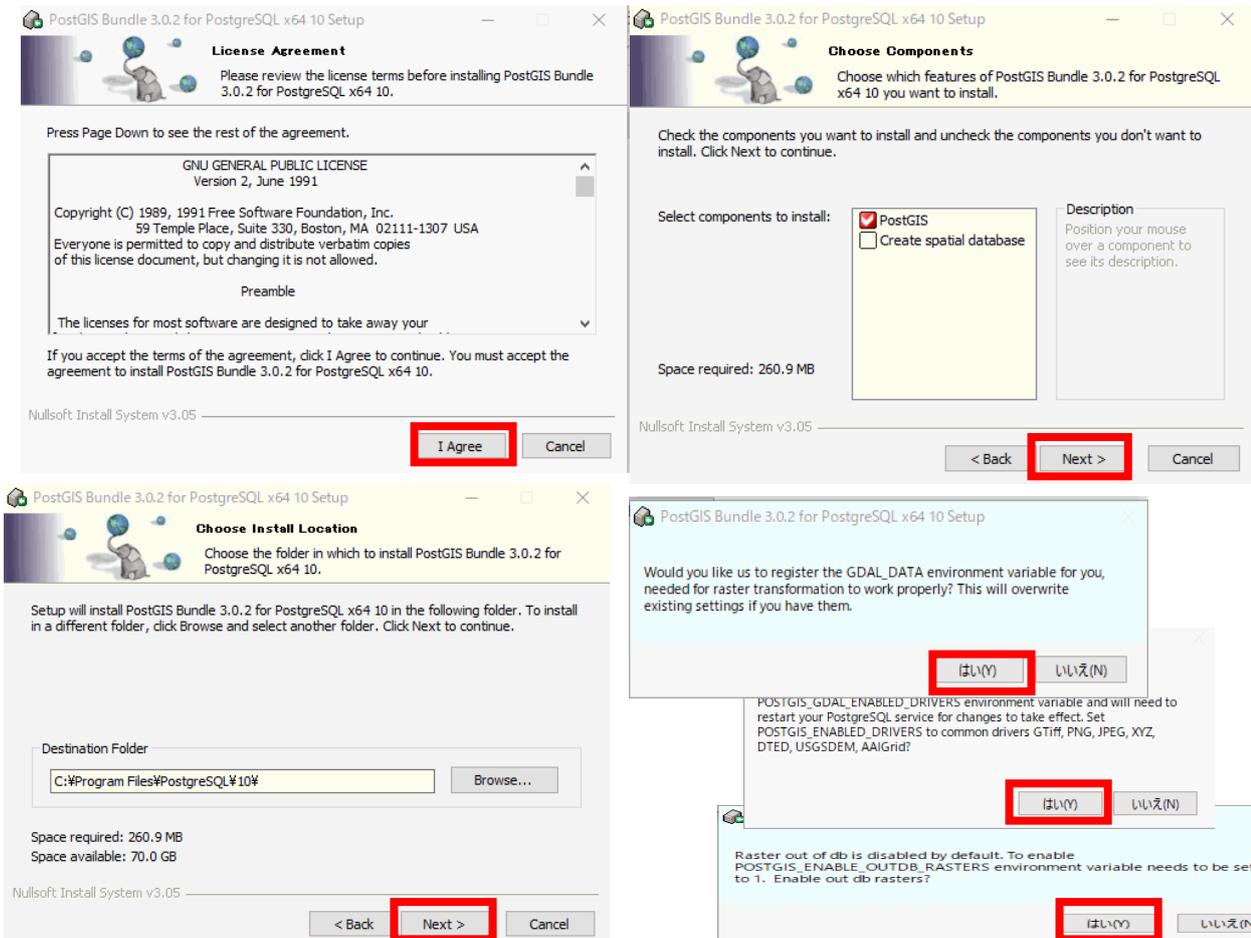
## 4. PostGIS インストール

「postgis-bundle-pg10x64-setup-3.0.2-1.exe」をダブルクリックします。

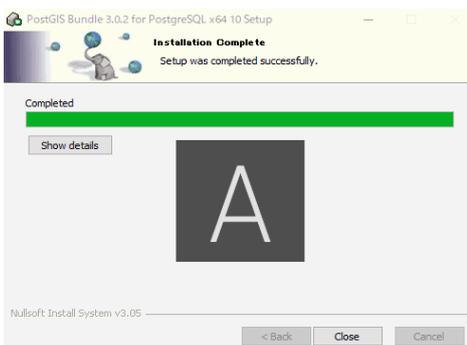


OS が 32 ビットの場合  
postgis-bundle-pg10x32-setup-2.5.0-1.exe

インストール画面を進めます。(I Agree→Next→Next→はい)

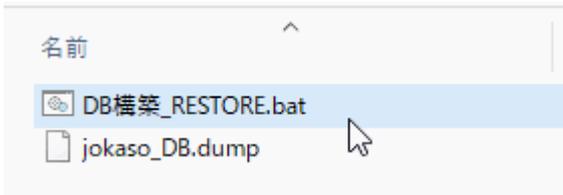


Close をクリックします。PostGIS のインストールを終了します。



## 5. データベース構築作業

「04\_データベース構築バッチ」フォルダにある「DB構築\_RESTORE.bat」をダブルクリックします。

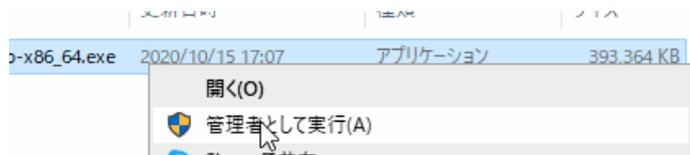


「続行するには何かキーを押してください。」と表示されます。エンターキーを押下し、完了です。

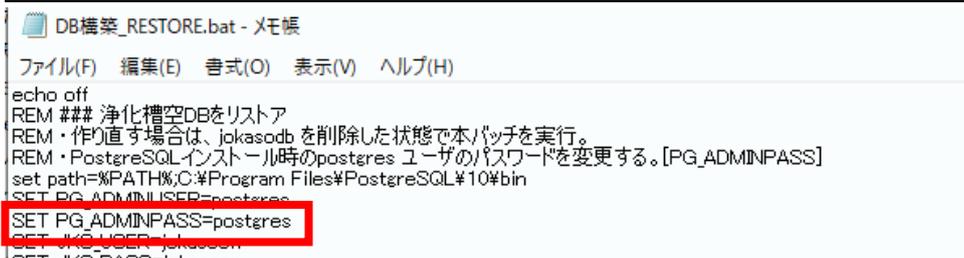
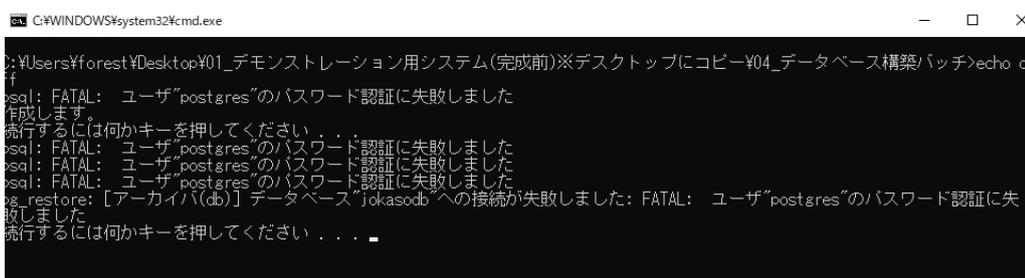


○うまくいかない場合（いずれかの方法をお試しください。）

1. パソコンを再起動し、お試しください。
2. 右クリックメニューより、「管理者として実行」にて、お試しください。



3. 「PostgreSQL インストール」作業で設定するパスワードが間違っている可能性があります。PostgreSQL の再インストールか、バッチをメモ帳で開き、パスワードを「postgres」に変更してください。





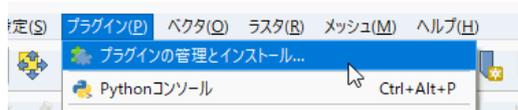
## 7.システム起動確認

システムの起動確認をします。初期ユーザでシステムにログインします。

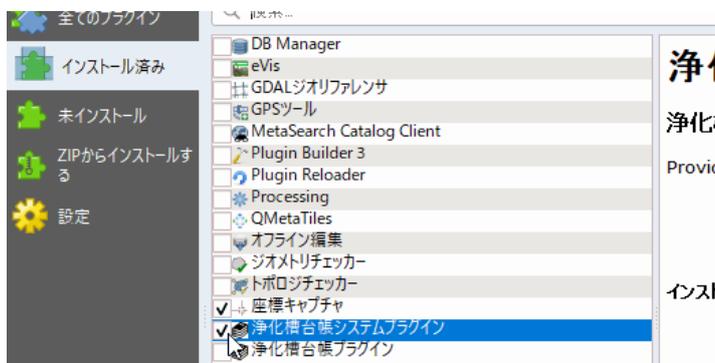
QGIS を閉じます。その後、「浄化槽台帳システム起動.qgz」をダブルクリックします。



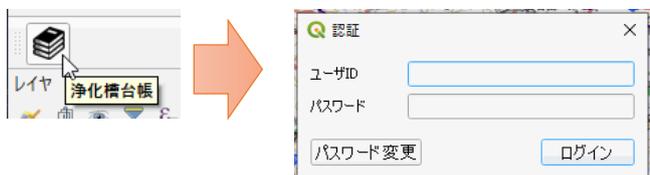
上段メニュー「プラグイン→プラグインの管理とインストール」をクリックします。



左メニュー「インストール済み」をクリックし、「浄化槽台帳システムプラグイン」にチェックを入れます。  
(既にチェックされている場合、一度チェックをはずして再チェックしてください。)



「浄化槽台帳」をクリックし、ユーザ ID とパスワードを入力してログインボタンをクリックします。



### ログイン情報

ユーザ ID : jokaso  
パスワード : Jokaso3155

各種システムボタンが表示されたら、確認完了です。



## こんな時どうする？

1.文字が見切れてしまう。

右クリックメニュー「ディスプレイ設定」を選択します。



ディスプレイの拡大縮小とレイアウトを100%に設定してQGISを再起動します。



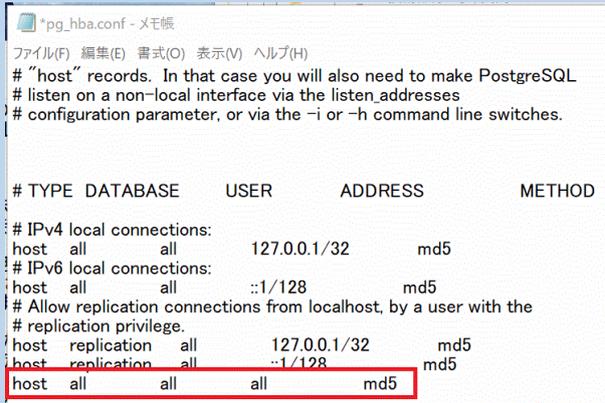
### QGISの再起動

右上の×ボタンをクリック後、  
システムを再度起動

2.クライアント／サーバ型でシステムを利用したい。

端末ごとに以下の手順を実施してください。

★サーバ

1	<a href="#">デスクトップへコピー</a>	配布された DVD に格納されているデータをデスクトップにコピーします。
3	<a href="#">PostgreSQL インストール</a>	PostgreSQL をインストールします。
4	<a href="#">PostGIS インストール</a>	PostGIS をインストールします。PostgreSQL がインストールされている必要があります。
5	<a href="#">データベース構築作業</a>	データベースを構築します。
6	環境設定 1	<p>「C:\Program Files\PostgreSQL\10\data」フォルダにある「pg_hba.conf」ファイルをメモ帳で開いてください。一番下の行に「host all all all md5」と追記して保存してください。</p>  <pre> pg_hba.conf - メモ帳 ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H) # "host" records. In that case you will also need to make PostgreSQL # listen on a non-local interface via the listen_addresses # configuration parameter, or via the -i or -h command line switches.  # TYPE DATABASE USER ADDRESS METHOD # IPv4 local connections: host all all 127.0.0.1/32 md5 # IPv6 local connections: host all all ::1/128 md5 # Allow replication connections from localhost, by a user with the # replication privilege. host replication all 127.0.0.1/32 md5 host replication all ::1/128 md5 host all all all md5                     </pre> <p>※設定内容は一例になります。IP 制御等の設定をする場合、こちらの内容に限りません。</p>
7	環境設定 2	PostgreSQL のポート (5432) が開放されているかご確認ください。システム管理部門にお問い合わせください。

★クライアント

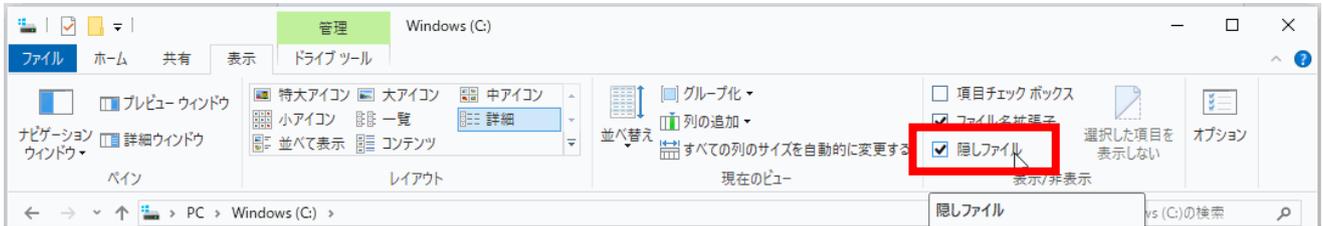
1	<a href="#">デスクトップへコピー</a>	配布された DVD に格納されているデータをデスクトップにコピーします。
2	<a href="#">QGIS インストール</a>	QGIS をインストールします。
6	<a href="#">プラグイン設定</a>	QGIS を起動し、浄化槽台帳システムのプラグインを設定します。

クライアント／サーバ型の場合、システム起動確認の前に設定する手順があります。

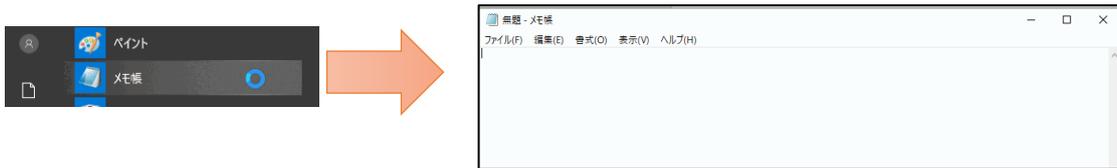
以下を参照してください。

# インストールマニュアル

エクスプローラーメニュー→表示→隠しファイルにチェックを入れます。



スタートメニュー→Windows アクセサリ→メモ帳をクリックします。

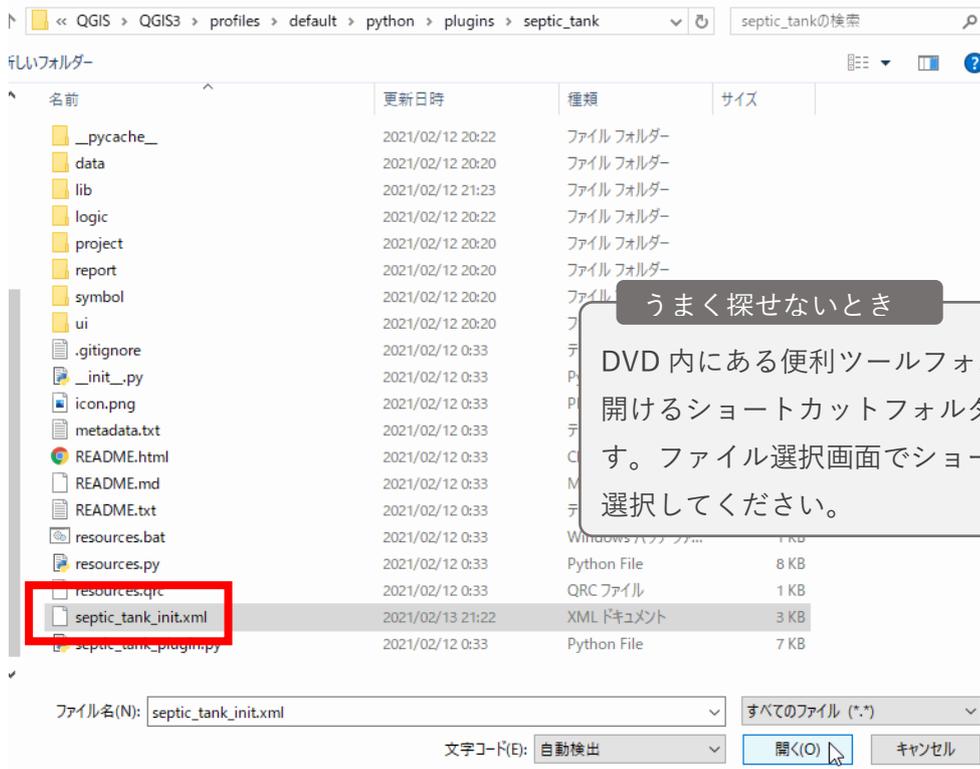


ファイル→開くを選択します。



以下のフォルダにある「septic\_tank\_init.xml」ファイルを開きます。

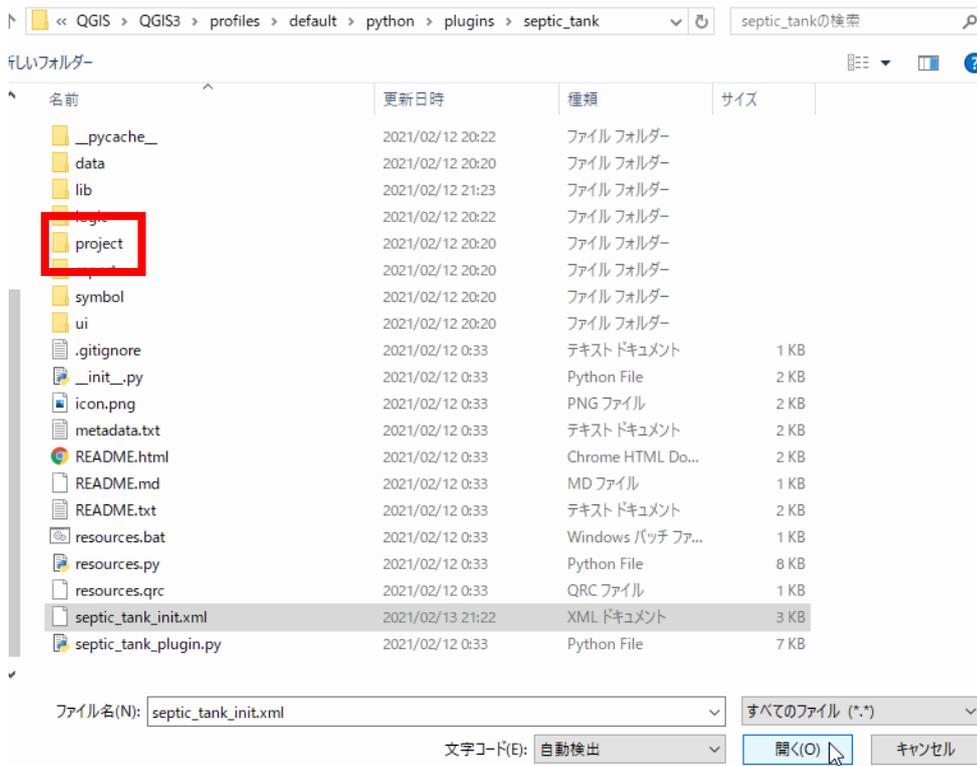
C:\Users\[ユーザー名]\AppData\Roaming\QGIS\QGIS3\profiles\default\python\plugins\septic\_tank



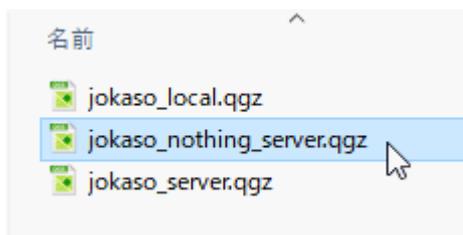
DB 接続情報の「host=localhost」にサーバの IP アドレスを設定して保存します。



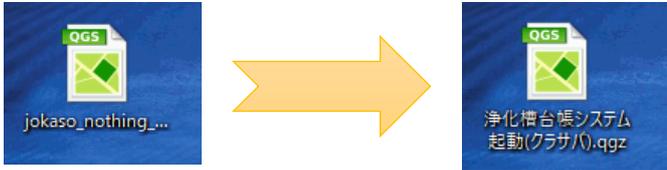
「project」フォルダを参照します。



「jokaso\_nothing\_server.qgz」をデスクトップにコピーします。



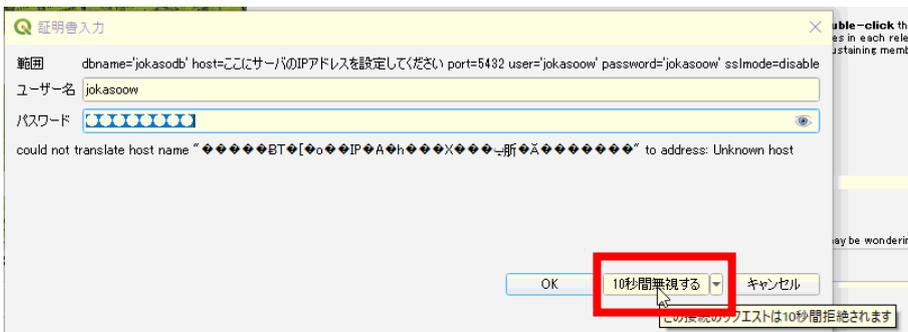
浄化槽台帳システムを起動するファイルとわかるように任意の名称に変更します。



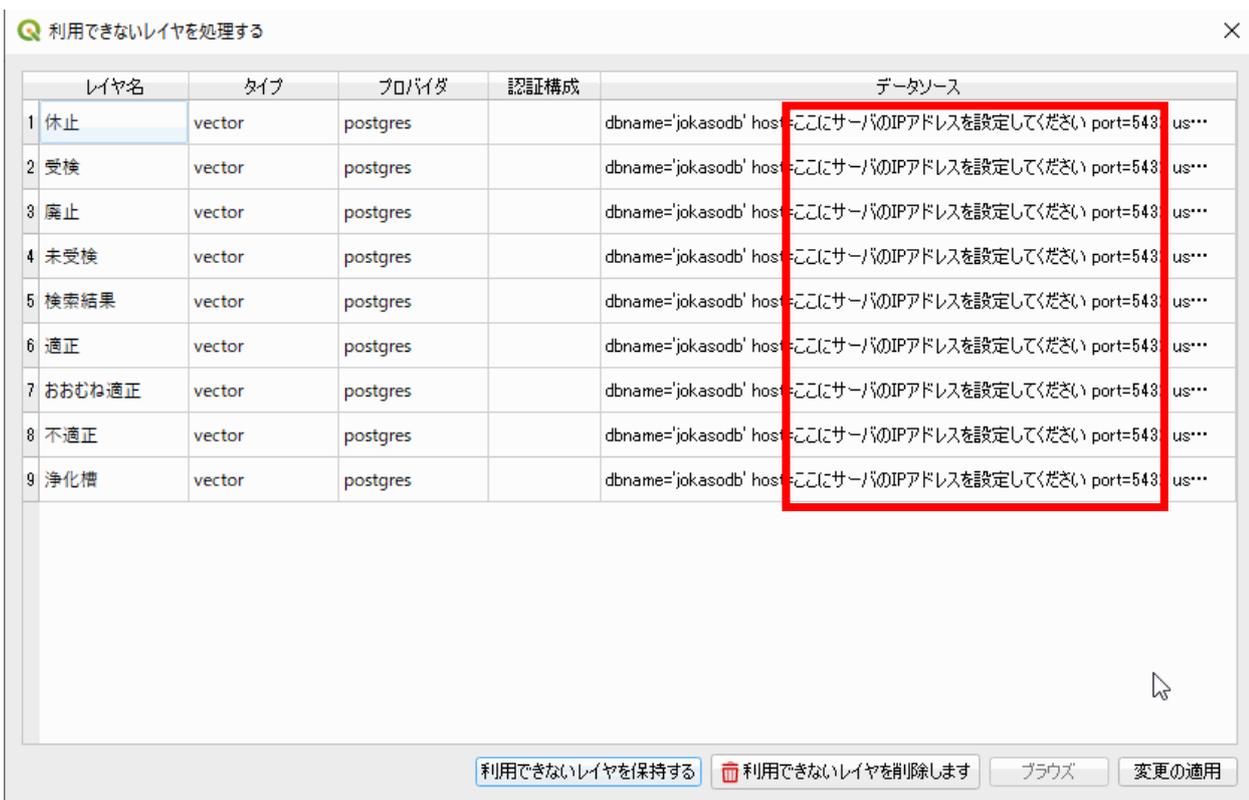
名称変更した qgz ファイルをダブルクリックして起動します。



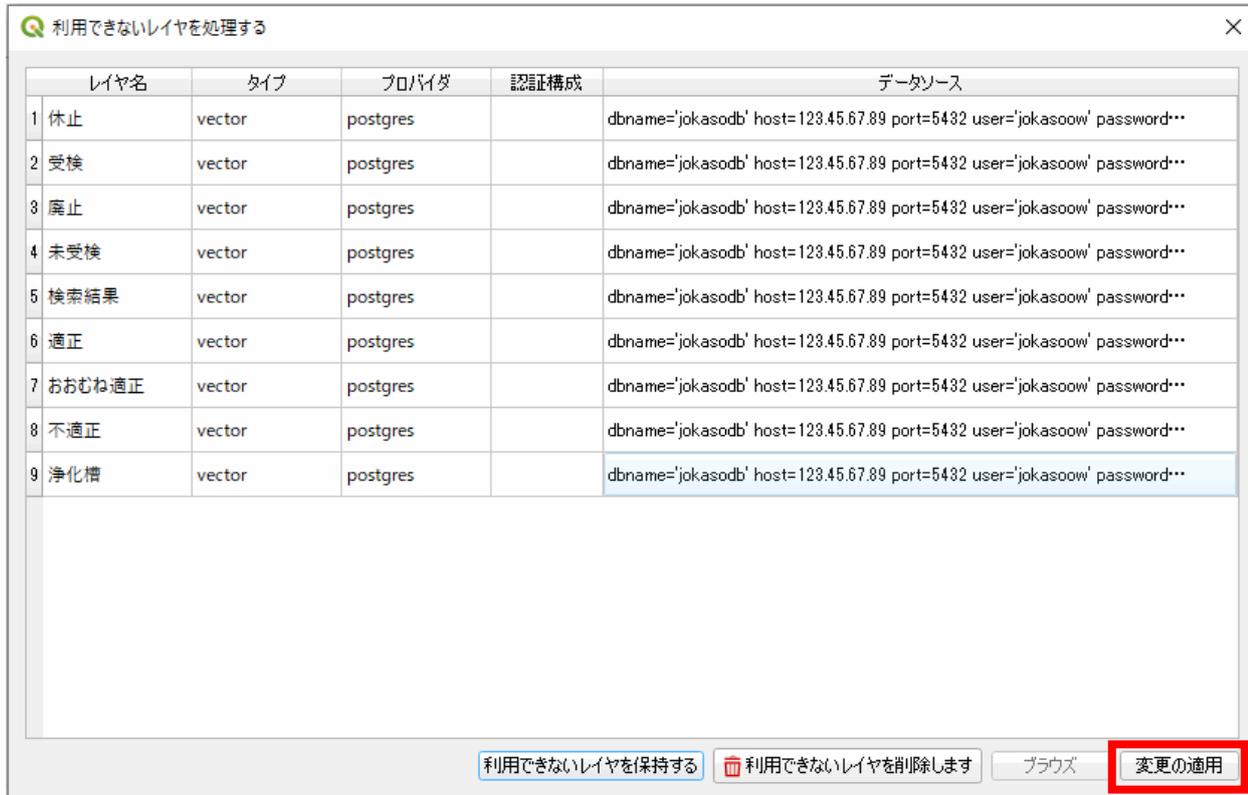
「10 秒間無視する」 ボタンをクリックします。



データソースの「ここにサーバの IP アドレスを設定してください」にサーバの IP アドレスを設定します。



データソース修正後、変更の適用ボタンをクリックします。



プロジェクト→保存をクリックします。



「7.システム起動確認」より、システムの起動を確認してください。

それでもうまくいかない場合は？

- ・環境によっては、クライアント側の PostgreSQL のポート（5432）開放も必要となります。システム管理部門にお問い合わせください。
- ・マニュアルを再度確認いただき、漏れがないかチェックをお願いします。